

会 議 録

| | | |
|------------------|---|--|
| 会議名称 | 沼田市市民活動センター運営委員会 第2回会議 | |
| 開催日時 | 平成23年1月27日(火) 午後7時～午後8時30分 | |
| 出席者 | 宮崎委員長、林副委員長、三河委員、上原委員、町田委員 以上5名 (欠席: 倉澤委員、小林委員、角田委員、高橋委員、千代田委員) 伊藤交流推進課長、石井副主幹、鈴木チーフ | |
| 協議事項 | ○ センターの運営について (1) 事業内容のあり方(事業計画) (2) センターの活用方法 (3) 利用促進の周知について (4) その他 | |
| 配付資料 | 資料1 平成22年度沼田市市民活動センター事業経過 資料2 「ぬまたん家」ホームページ 資料3 沼田市市民活動センター利用状況 平成22年度市民活動センターコピー実費徴収金集計表 沼田市市民活動センター「ホットステーションぬまたん家」相談内容 | |
| 審 議 状 況 | (1) 審 議 経 過 | ○ 宮崎委員長あいさつ、林副委員長の自己紹介の後、協議に入った。 ○ 事務局より、協議事項ごとに説明後、意見を聞いた。 ○ 前回の質問 ①印刷料金の推移②主な相談内容③今までの問題点について、回答した。 |
| | (2) 結 論 | ○ 事業計画のあり方 平成22年度の事業経過について。 ・事業の効果として、情報紙・ホームページなどの情報発信による登録団体と「ぬまたん家」の周知、ワークショップによる団体のパワーアップと団体間の交流の場づくり、イベントへの参加などにより多くの市民を対象にした周知ができた。 ・反省・要望として、23年度は、まちづくり事業補助金助成の時期を早め、使いやすくなるように改善したい。また団体のパネル展示、パソコン教室などを開催したい。 ○ センターの活用方法 ・情報発信については掲示板・情報紙・ホームページの活用をしてほしい。 ・相談があれば、できる限りの対応をしていく。 ・市民協働の出前講座を引き続きやっていく。 ○ 利用促進の周知について ・ホームページによる、登録団体の活動内容および「ぬまたん家」の活動報告。 ・情報紙「ホットニュースぬまたん家」に団体情報・「ぬまたん家」活動報告などを掲載。全戸回覧、登録団体・関係機関への送付を行っている。 ・イベントの開催、参加時に「ぬまたん家」パンフレットなどの配布、紹介。 ○ その他 ・センターの開所時間などについて、現在の利用状況では適当であるが、今後しばらく利用の推移を見て、状況によって検討する必要がある。 ○ 今後の予定について ・次回会議について、早くて3月くらいをめどに正副委員長と調整し後日連絡する。 ・第1回会議録についてホームページに載せる。 |

主 な 意 見

○ 事業のあり方（事業計画）

（委 員）市民協働によるまちづくり事業補助金について、制度としては良いが先細りになってきているのではないか。

（事務局）報告会後のワークショップの意見を参考にして、次年度は募集と実施時期をひと月早める。そのため今年度は3月に報告会を実施する予定である。

○ センターの活用と利用促進の周知について

（委 員）広く市民の趣味にも目を向け「ぬまたん家」で発表の場を確保し、登録団体だけではなく個々の参加の機会を作り、個人も引き込んでいかないと発展していかないと思う。

（事務局）団体はもちろん個人の方でも、どこに相談して良いかわからないことや、情報発信したいことがあれば「ぬまたん家」の掲示板や情報紙、ホームページなどを活用してほしい。

（委 員）ロビーのパブリックスペースを会議室として使ってもらうのは、適当ではないと思う。会議室として、利根沼田ボランティアセンターなどのスペースも視野に入れ、調査して使えるように連携を図ってはどうか。

（委 員）設置検討委員会でいろいろな条件や意見を考慮に入れて決まった場所であり、しばらく今の場所でも有効に使ってみてから考えれば良いと思う。今のところはこの場所がベストということをやっている。

（事務局）「ぬまたん家」は、市民参加による検討委員会をつくり、施設の必要性や立地条件などを一から議論して決めてきた。施設面で不十分な面はあるが設置して1年経ったばかりなので、しばらくは現在の状態で使用し問題があれば今後検討したい。利用促進では、ホームページや情報誌による情報発信や掲示板の活用、ワークショップの開催などセンターの活用に努力してきたが、さらに運営委員会の意見を聞いて使いやすい施設を目指していきたい。

（事務局）センターに来る人だけでなく、こちらから出かけていく出前講座も行っている。最近も市民協働について白沢町や女性団体などから申込みがあり、公民館を借りてやる予定である。出前講座も活用して活動センターを周知していきたい。

（委 員）地元身近な公民館で出前講座を行い、その中で「ぬまたん家」広めていくのは良い方法だと思う。何かの行事と抱き合わせをするなどの工夫をして、あらゆる機会を利用して周知することは、良いと思う。

（事務局）「ぬまたん家」で立ち上げたホームページの中で、センター登録団体の紹介を掲載している。今後とも団体ごとに情報の更新ができるようになっている。

（委 員）ホームページを立ち上げたことは、インターネットを利用する人にとって便利だと思う。

○ その他

（委 員）利根沼田ボランティアセンターともっと交流を図り、勉強をさせてもらうべきである。

（事務局）できるだけ顔を出すようにさせてもらっている。総会にも参加させていただいている。

（委 員）将来的に個々の市民の皆様に利用していただくことを考え合わせ、各町、区単位の行事なども「ぬまたん家」の宣伝の場として活用させていただきたい。

（事務局）いろいろな機会に周知してもらい、できるだけ活用していただきたい。